



What's happening?

留学生
滞在記

印象深い日本での生活

先端技術科学教育部 博士後期課程1年

Purnomo Sejati [インドネシア] (プルノモ・セジャティ)

それで心配なく徳島に来ることにしました。

日本へ来た目的は自分の専門や日本の文化などを勉強することです。現在、博士後期課程の1年生で、電気電子創生工学の安野研究室で「群ロボット」の研究をしています。「群ロボット」の研究は新しい分野のもので、多くの比較的単純なロボットから構成されるロボットシステムの協調動作に関する研究です。ロボットの設計(物理的な設計と動作の設計)やロボット間の相互作用、ロボット群と環境の相互作用による集団行動の研究をしています。研究はともおもしろいですし、研究室のメンバーも優しい人たちばかりです。今年のゴールデンウィークに先生や先輩、また研究室のメンバーと一緒にバーベキューをしました。研究室の人たちといろいろな経験を共有することができて、とてもうれしく感じています。

インドネシア出身のプルノモと申します。2011年3月に日本に来ました。日本へ来る前、私の家族や親戚は私が日本へ行くことをとても心配しました。ニュースで東日本大震災のことが放送され、徳島は危険なところだと思っていたからです。徳島大学の先生に連絡すると、徳島は東北から遠く大丈夫だという返事が来ました。

徳島に来てから3年半経ち、自分の国と日本の異なる習慣をいろいろ知ることができています。例えば、ゴミの分別です。日本ではゴミがきれいに分別されています。ゴミを捨てる時にもカレンダーを見て捨てます。インドネシアでは、ごみを日本のようにきれいに分別して捨てることはありません。



ゴールデンウィークに研究室のみんなと
(中央右から2人目が筆者)



鳥取で初めてのスキー(後列左端が筆者)



大阪城で

また、日本で興味深く感じた別の習慣は「10分前集合」です。ミーティングのときなどに必ず10分前に集合するというマナーは、インドネシアにはありません。さらに、インドネシアでは車のクラクション

の音をよく聞きますし交通渋滞も多いのですが、日本ではクラクションをあまり聞きませんし、車も大体スムーズに流れています。インドネシアでの居心地が悪かったという意味では決してありません。

んし、人種や文化の違いはどちらが良いとか正しいとかというものでもありませんが、確実に違いはあります。私は知らなかったこの感覚を、知識ではなく実際に感じる事ができ、本当に貴重な体験をしていると思います。

大学の旅行に参加し、人生で初めて鳥取県でスキーをしました。白い雪を見て、本当に感動しました。また、日本では様々な国から来た友達をたくさん作る事ができました。アジア、中東、ヨーロッパなどの人たちに会えたので、世界のいろいろな知識を得ることができています。そして、徳島で周りの人たちとの交流を通して、「自分がとても日本人らしい」ということを発見しました。日本という国、日本人の価値観が私にとって快適なのだと思ってきました。

徳島大学の研究室で学んだロボットの知識だけでなく、ディスカッションや部活動などを通じて培ったコミュニケーション能力などは、どこにいても生かせるものです。博士号取得後は、より一層幅広い知識と視野を身に付けて、時代の流れを感じることにできる、そしていつも新しいことにチャレンジしていくアクティブなエンジニアになりたいと思っています。

health care

蔵本総合相談部門の歴史

蔵本キャンパスの総合相談部門は2000年5月に学生相談室蔵本分室として開室しました。当初は週1日、午後のみが開室でしたが、利用者の増加に伴い2012年10月から週2日の開室、2013年12月から週5日の全日開室となりました。また2014年1月から保健管理・総合相談センターに改組されたの

蔵本総合相談部門が 利用しやすくなりました

保健管理・総合相談センター 保健相談部門

藤原 朝洋 (ふじわら ともひろ)

を機に、蔵本総合相談部門と名称を新たにし、学生や教職員の様々な相談に対応しています。

問などもお答えしますし、「ほっと」するためにいらっしゃる方も大歓迎です。

蔵本総合相談部門では、人間関係を進路、学業についての相談が比較的多く、今年の前期は70余名が蔵本総合相談部門を利用しています。また近年では保護者からの相談も増えています。相談内容は個人によって様々で、1、2回の相談で問題が解決したので満足されて終わられる方もいれば、学生生活をより良いものにする事を目的として、長期にわたり継続的に相談される方もおられます。他人からすると些細にみえる悩みでも、悩んでいる本人にとっては大きな悩みであることもあります。何か困ったことがあればいつでも蔵本総合相談部門をご利用ください。きっとお役に立てるはずですよ。

蔵本ほっとカフェのご案内

蔵本キャンパス総合相談部門では毎月第2、4金曜日の12時から13時まで、蔵本ほっとカフェの時間を設けています。この時間はカウンセラーがお茶やコーヒー、お菓子を準備して皆さんの来室をお待ちしています。カウンセリングについての質問や心に関する疑

最後に

学生生活にかぎらず、人生においては、大なり小なり悩みを抱え続けるものだと思います。生きることそのものが選択し悩みの連続であると言ってもいいと思います。カウンセリングは悩みをなくすためのものではなく、「より良く悩む」ための場です。カウンセラーと一緒に悩むことで、より良い悩み方より良い生き方のヒントが掴めるかもしれません。

蔵本メインカウンセラー紹介 藤原 朝洋

大学での悩みは尽きず、自分ではどうにもならないこともあります。そんな時は一度相談に来てください。基本的には人間性心理学(カウンセリング)に基づき皆さんのお話を聴きますが、他にも動作療法や心理劇といった体験を重視した面接もおこなっています。



担当カウンセラー

月曜	藤原
火曜	井ノ崎
水曜	藤原
木曜	赤坂
金曜	藤原